

【東京都主催】「都知事杯オープンデータ・ハッカソン」開催決定

～都知事杯をかけて競う5日間、審査員には宮坂副知事も！～

株式会社ボーンレックス（東京都千代田区、代表取締役 室岡拓也）は、2021年度の「都知事杯オープンデータ・ハッカソン（以下、本イベント）」の運営を東京都より受託し、本日11月5日（金）より参加希望者（個人または団体）の募集を開始いたします。

本イベントは、新たなサービス開発を志す方、自身の技術力を試したいエンジニア・デザイナー等が集結し、東京都のオープンデータを活用したサービスやシステム、アプリケーション開発の成果を競い合う5日間のハッカソンイベントです。都知事杯の贈呈や、その後の東京都によるサービス実装に向けた支援も予定しています。

【参加申し込みはこちらから】

<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?id=1633075521121>



• 本イベントの特色

形式：オフライン×オンラインの融合型イベント（都内の感染症状況により変更の可能性もあり）。

内容：参加者は、東京都から提供されるオープンデータを自由に加工し、都民のQOLを向上させる新サービスのプロトタイプを短期間で目指します。宮坂副知事も審査員として参加します。5プロジェクトが選抜され、そのうち1プロジェクトに都知事杯を贈呈します。

参加者：サービス開発に必要なメンバーで1チームとなり、開発を目指します。個人での参加や当日に参加者同士でチームを結成することも可能です（都民以外も参加可能）。

より良い世の中の創造・面白い何かを仕掛けたい参加者の応募をお待ちしております。

• 募集概要

(1) 開催スケジュール

ハッカソン：2021年12月中旬の5日間

First Stage：2022年1月中旬（ハッカソンで作成したプロトタイプの内容をプレゼンしていただきます。）

Final Stage：2022年1月下旬（選抜した5者の中から最優秀の作品に対して都知事杯を贈呈）

(2) 応募対象者

東京都のオープンデータを活用したサービス開発を目指す個人又は団体

(3) 応募条件（詳細は別途募集要項を参照）

- ・ 東京都が抱える行政課題の解決に資するサービス案を検討していること。
- ・ 東京都のオープンデータを活用予定であること。
- ・ 予定されている日程に参加できること。

(4) 応募期間

2021年11月5日（金）～12月8日（水）

(5) 応募方法や提出書類等

以下の募集要項をご覧ください。

<https://portal.data.metro.tokyo.lg.jp/hackathon/>

(6) 参加申し込みフォーム

<https://www.shinsei.elg-front.jp/tokyo2/uketsuke/form.do?id=1633075521121>



• 背景

東京都は、行政が保有するデータを積極的に公開し、民間企業等がシビックテックを活用した新サービスを創出することで、都民のQOL向上に繋げていく取組みを進めています。この取組みを加速するため、この度、東京都のオープンデータを活用して行政課題の解決に向けたデジタルサービスの提案を行う「都知事杯オープンデータ・ハッカソン」を開催いたします。

※ハッカソンとは、エンジニア、デザイナー、プランナーなどが与えられたテーマに対し、それぞれの技術やアイデアを持ち寄り、短期間（1日～1週間程度）に集中してサービスやシステム、アプリケーションなどを開発し、成果を競う開発イベントを指します。hack（ハック）+marathon（マラソン）からの造語。

• 運営会社 株式会社ボーンレックスとは



株式会社ボーンレックスは、“世界をワクワクさせる”ことを目指して、個人起業家から拡大中のスタートアップ、大企業まで新規事業の事業化支援を行い、あらゆる人の想いをカタチにしています。

ミッション策定からビジネスモデルの構築、PoC（実証実験）を経てリリースに至るまで伴走型でトータルサポート。クライアントに代わって当社が自社リソースで事業を立ち上げたのちクライアントに売却する、事業の「代理出産モデル®」も提供しています。数々の新規事業を立ち上げてきた経験を活かし、クライアントに寄り添いながらビジネスを築き上げることを強みとしています。

※記載されている会社名およびプロジェクト名（ロゴマーク等を含む）は、各社の商標または各権利者の登録商標です。